

保育おおさか

平成17年9月1日 第361号

大阪府社会福祉協議会・保育部会
☎ 06-6762-9001 Fax 06-6768-2426

少子化対策あの手この手

資料集に見る各地の“知恵”

わが国の少子高齢化は、将来の日本にとって大きな負の課題となっている。厚生労働省から発行された平成16年度版「少子化対策関係資料集」には、わが村、わが町に希望あふれる産声を期待した全国市町村の取り組みが紹介されている。今回は、北海道から近畿地区までの各地の取り組みをいくつか紹介したい。

■取り組みいろいろ

次に、少子化防止対策などにユニークなネーミングと事業を実施している市町村を紹介したい。

・結婚相談や情報提供、出会の場の確保や機会の拡充「青年ドリーム支援事業」(秋田県鹿角市)

・新生児紙オムツ処理用袋支給事業(北海道浦河町)

・1歳児ハガキ相談事業(宮城県多賀城市)

・大人がそれぞれの立場で子どもたちの心を豊かに育む「大人の寺子屋講座事業」

(茨城県常陸太田市)

・パネルシアターの製作と上演を通じ、楽しんで子育てで交流「ともだちキャラバン」(群馬県吉井町)

・子育て支援や育児を通して仲間作り「ラッコクラブ事業」(群馬県吾妻町)

・祖父母を対象に、虫歯予防やしつけの指導をおこなう子どもの健やかな発達を支援する「おじいちゃんおばあちゃんの子育て教室」(群馬県明和町)

・お父さんに妊娠や育児について正しく理解し、育児参加をしてもらう「秩父市父子手帳「お父さんの子育て日記」作成配布事業」(埼玉県秩父市)

など、お国かわればその取り組みもいろいろのようだ。



平成16年度版「少子化対策資料集」

■出産・子育てを支援

出産を奨励する事業では、やはり出産祝金や子育て支援金支給が多い。

・第2子まで1人5万円、第3子からひとりにつき8万円「エンゼル祝金事業」(北海道紋別市)

・第3子以降の出産の場合、10万円「子宝祝金事業」(青森県大鰐町)

・第2子5万円、第3子20万円、第4子以降ひとりにつき10万円(青森県南部町)

・第3子以降に30万円、第4子以降はひとりにつき10万円(青森県南部町)

・第3子30万円、第4子40万円、第5子以降50万円「出産祝金および子育て支援金事業」(青森県南郷町)

その他、秋田県田代町、山形県河北町、福島県西会津町、茨城県五霞町、埼玉県秩父市、石川県珠洲市他7市町、岐阜県美濃市他14市町村、静岡県島田市他2町村、愛知県名古屋他1市、大阪府池田市、兵庫県家島町となっている。

都市部に比べ、町村が力を注いでいることがうかがえる。

■産みたい夫婦を手助け

不妊治療をおこなっている夫婦に対し、医療費の一部を助成する「こうのとりの支援事業」(山形県温梅町)、同じく治療費の一部助成をおこなっているのは、新潟県上越市、石川県輪島市、白山市、三重県鈴鹿市、大阪府池田市、など。

おおまかに少子化対策の



いつの頃からだろう、曲がったキユウリ、形の悪いナスビ、定められた箱に入らない大きな魚が市場から消えた。我々が少しでも早く、安く、美しく追求した結果である。本当にそんなものを求めているのだろうか。

急ぐ用事もないのにエレベーターに乗ると(閉)を押してしまふのは何故だろう。エスカレーターで常に片側を追い越していくのは何故だろう。それらが、まだ記憶に新しいJR福知山線の悲惨な事故につながったのではないだろうか。あの事故が我々に大きな警笛を鳴らしてくれたが、あまりにも大きな代償を支払うことになった。

「そんなに急がなくても大丈夫だよ」と、早く気がつかないと本当に手遅れになるかもしれない。我々にとって、今、何が大切なのかを考える時が来たのではないかと思うのは私だけだろうか?

間近に迫った老後に、時間を忘れ、南の島でゆっくりと趣味三昧に旨いつまみと旨い酒、なんて思っている今日この頃である。

(K・G)

地域全体で 子どもをサポート



「大阪子どもネットワーク2005年度第1回活動交流のつどい」が8月16日(火) 大阪社会福祉指導センターでおこなわれた。

大阪子どもネットワーク

活動交流のつどい

はじめに、ネットワークの家常代表から開会の挨拶があり、続いて大阪府健康福祉部児童家庭室の飯尾慎太郎室長による来賓挨拶があった。



ネットワークの家常代表

第1部 講演

第1部はいじめ問題の第一人者である大阪樟蔭女子大学の森田洋司教授による「いじめ、不登校問題の現状と今後の課題について」の講演があった。



森田洋司教授

め問題の国際比較研究を実施し、実態調査に基づいていじめの場面では「いじめっ子」「いじめられっ子」の



熱心に話しを聴く受講生たち

ほかに、見てみぬふりをする「傍観者」、面白がってはやしたてる「観衆」の4層が存在すること、また、いじめの場面ではこの4つの層の役割が固定的でなく「立場の入れ替わり」が見られ、「見えにくい」構造をもっていること、「傍観者」も加害者であることを指摘された。

現代社会では社会全体の動向が私事化し、人と人との結びつき、集団の結びつきが弱くなり、人間関係が希薄化している。また、個人が孤立化する中で、いじめや不登校の問題においても、自然に任せるのではなく、地域社会全体で、意図的に子どもをサポートする仕組みを確立していく必要がある。そのためには、地域と学校、そして社会の連

携(ネットワーク)が大切であり、子どもをみんな育てていくんだとていかなければならないと話された。私が勤めている保育園でも園庭やプールを開放し、地域に住んでいる人たちの交流の場を設けたり、実際に保育園での活動(日常の保育や行事など)を地域の人に体験してもらおう機会がある。こ

第3部 活動交流会

「活動交流会」では9つのグループに分かれ、不登校・虐待・子育て支援・ネットワークなどそれぞれにテーマが掲げられて活発な情報



様々な立場の方と活発に意見交換

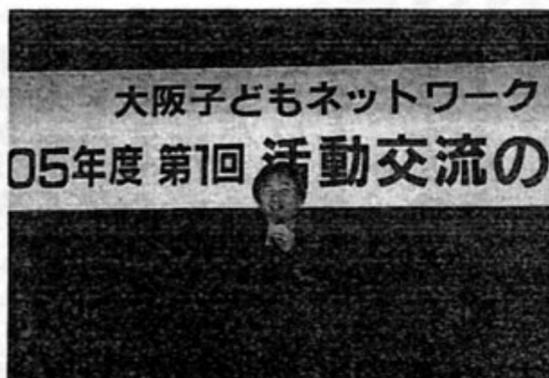
私のグループは、子育て支援とネットワークについて話し合い、多くの市で親と子が集まって遊ぶ場を設け、親同士の横のつながりを作り、子育ての悩みを話すことでストレスを解消したり、虐待につながる前に予防することを目指して活動しているが、そういった場に参加しないでひきこもってしまった親子をどうやって認知し、どのようにしたら興味を持ってくれるのか難しい点であるという意見が出された。

園T・K) (大野台保育) 必要性を改めて感じた。



第2部は、声楽家の畑儀文さんによるコンサートがあり、日本の童謡や畑氏作曲した歌を聞かせていただいた。

第2部 コンサート



畑儀文さんの話しに会場から笑いも

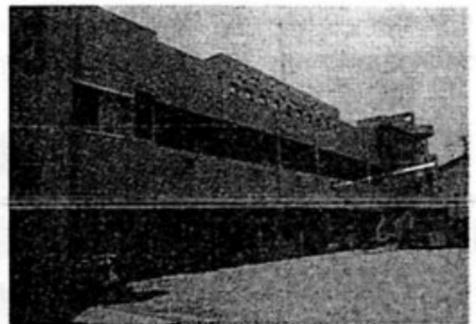
のよう機会を通し同年代の子どもの持つ親同士が触れ合い、コミュニケーションを深めたりしている。まだまだ保育園という小さな社会ではあるが、地域ぐるみの子育てに介入し輪を広げていけるように努めていきたい。(つばみ保育園S・O)

伸びやかできれいな歌声と楽しい話に参加者も魅了され、和やかな雰囲気の中、音楽のパワーを感じたひとときであった。

老朽改築を終えて

寝屋川市

寝屋川なかよし保育園
第二寝屋川なかよし保育園



保育の 原点 忘れず

永く住み慣れた春日町の園舎から、直線300メートル離れた長栄寺町にこの5月末に引越し、6月1日より新園舎

では、天候や距離、そして様々な角度から色合いを試行錯誤し、時間を費やしました。また園児が触れる可能性のある場所の角のタイルは丸くするなど安全面の配慮もしました。室内(写真①)は暖かみを感じさせる木を基調とし、全クラス



り、北側に位置する真つ直ぐ伸びる長い廊下には天井までの大きな窓を並べ、採光や色彩に工夫を凝らしました。園庭に面した明るい保育室には、部屋の中からも外からも出し入れ可能な棚や、個別のトイレ、すべてのドアにはロックを取り付けるなどして、利便性と安全性を考慮したものにしました。

メニューに入れ、カロリーの消費も考えました。

残る事実でした。おかげさまで、最近はその食事の前には、以前は感じなかった健康な空腹感を感じますし、昔よりも薄味で食べられるようになりました。

いたり、お母さんが夕食の準備をするのを静かに待っているようにと、何かを食べさせている家庭はたくさんあるようです。

ランスを考えた食事、これらを与えることは結構なことです。しかし、子どもたちが、それらを積極的に喜んで取り入れられる健康な空腹感を作ってあげなければ、それらの努力は水の泡になってしまいます。

がらも、壁の向こう側を覗きたがる子どもたちのために、工夫した覗き窓。なるほど、子どもたちは興味津々に窓から外を覗きます。その風景は私たち大人のそれよりも、もっと大きく、未知なる物に映っているのかも知れません。今日も子どもたちの元気な明るい声が響いています。園舎は一新されましたが、当園の保育の原点「この子にとって、今何が必要か？」を忘れることなく、保護者、地域の方々と共に、皆の財産である子どもたちを暖かく見守り、育んでまいりたいと思えます。国、大阪府、寝屋川市、そして設計士さんや施工業者の方々、ご尽力頂きました。たくさんの方々から心から感謝申し上げます。

■わたしは昨年の10月よりダイエットを開始しました。その理由は、決して美容のためではなく、腰痛の治療のためでした。

たしかに7キロの体重減少で、講演中やゴルフのときの腰痛ベルトが不要になり、今更ながら、ムダな脂肪が腰に負担をかけていたことが分かりました。

この経験から、今の子どもたちは本当の空腹感を感じていないのだろうかという疑問が湧いてきたのです。たしかに保育園にいる間は、決まった時間にしか食べ物を口にすることはありませぬし、適度な運動もしていませんが、はたして家庭ではどうなのでしょう。

し、好きなものだけで満腹になってしましますから、偏食や好き嫌いを助長し、栄養のバランスも崩れてしまうことではないかと。そこで、わたしは「食育の土台は健康な空腹感を作ることにある」との結論を得たのです。

「食育」とならば「知育」にしても、大人たちが教えすぎて、かえって子どもたちの好奇心と学習意欲を低下させているのではないのでしょうか。

そんな豊かな時代だからこそ、なんでもかんでも与えようとするのではなく、「食」にしろ「知」にしろ、「物」にしろ、子どもたちに、適度な飢餓感を感じさせることの大切さが見直されるべきではないかと、わたしは考えています。(英)

落語医者の保育うだうだ話

こどもに健康な空腹感を

でも、食べることも大好き人間のわたしのダイエットですから、厳格な食事制限などすれば、絶対にリバウンドすることは、自分でも分っていました。

食べてグラフが上を向いたときの腹立ちと反省、これが効くのです。

疑問が湧いてきたのです。たしかに保育園にいる間は、決まった時間にしか食べ物を口にすることはありませぬし、適度な運動もしていませんが、はたして家庭ではどうなのでしょう。

し、好きなものだけで満腹になってしましますから、偏食や好き嫌いを助長し、栄養のバランスも崩れてしまうことではないかと。そこで、わたしは「食育の土台は健康な空腹感を作ることにある」との結論を得たのです。

「食育」とならば「知育」にしても、大人たちが教えすぎて、かえって子どもたちの好奇心と学習意欲を低下させているのではないのでしょうか。

そんな豊かな時代だからこそ、なんでもかんでも与えようとするのではなく、「食」にしろ「知」にしろ、「物」にしろ、子どもたちに、適度な飢餓感を感じさせることの大切さが見直されるべきではないかと、わたしは考えています。(英)

そこで、まず野菜中心の食事にし、夕食のビールを止め(日本酒、ウイスキー、ワインなどは辞められませぬが……)あとは世間一般の人の一人前の量を食べるといふ、ムリのないダイエットの実行と、毎日の散歩も

初めて気づいたことは、今までは、空腹でもないのに、ガラガラと、本当は食べる必要もなく、それほど美味しくもないもので食べていたという、まことに悔いが

疑問が湧いてきたのです。たしかに保育園にいる間は、決まった時間にしか食べ物を口にすることはありませぬし、適度な運動もしていませんが、はたして家庭ではどうなのでしょう。

し、好きなものだけで満腹になってしましますから、偏食や好き嫌いを助長し、栄養のバランスも崩れてしまうことではないかと。そこで、わたしは「食育の土台は健康な空腹感を作ることにある」との結論を得たのです。

「食育」とならば「知育」にしても、大人たちが教えすぎて、かえって子どもたちの好奇心と学習意欲を低下させているのではないのでしょうか。

そんな豊かな時代だからこそ、なんでもかんでも与えようとするのではなく、「食」にしろ「知」にしろ、「物」にしろ、子どもたちに、適度な飢餓感を感じさせることの大切さが見直されるべきではないかと、わたしは考えています。(英)

ブロックだより

おじゃましてあげか?

北摂ブロック 職員納涼会

北摂ブロック夏季職員納涼会が8月23日、開催され

ました。

今年はNGKなんばグラウンド花月で観劇となり、29か園60人が参加。お笑いで暑さをぶっとばせ! 笑う角には福来る、3面に連載されている「落語匠者の保育うだうだ話」の、あの楽しく役立つお話からの実践です。(平成15年4月1日、332号)「笑いの効用」笑いは健康な新陳代謝の元となり、凝り固まった心を揉みほぐし解放する力がある



る)

参加した保育士からは、「生で見る芸人はテレビで見るとやっぱり違う」、「ステージでは輝いて見える」、「やすえさん綺麗」、「八方さん男前」などの声。吉本新喜劇の食堂シリーズ

保育園をたずねて

331

摂津市 摂津さつき保育園

摂津市の南西に位置する摂津さつき保育園は、近くに淀川から分岐された神崎川が流れ大阪市東淀川区に隣接している。昭和49年、府営団地の完成と同時に開園された。定員は、80人である。園の特色は、一人一人の子どもを大切に。各年齢一クラスずつで、家庭の居心地を思わせる保育園です。また、平屋建ての屋上には、太陽光発電設備があり、さりげなく地球の



環境にも意識している。また、屋上には、サッカーコート

トがあり、ゴムチップが敷き詰められている。ただ、「こけると摩擦で痛い」(園長談)。屋上は、もともと園庭ではなかったが、近くに流れる河川が大雨で氾濫した場合を想定して、逃げ場所がないと困るので、屋上に上げられるように改修した。災害も想定し、地球の環境、子どもの未来・安全を真剣に考えながら取り組んでいる保育園の印象がうかがえた。

泉州民間保育士会研修会



講演される 西川助教授

子どもの心に 寄り添って

泉州ブロック保育士会研修会

のお決まりのギャグでは一同大うけ。アドリブのやりとり、間の取り方、関西人として、学ぶところ多し。明日からの保育にとびっきりの「笑顔」で子どもたちに笑顔のシャワーを浴びせませす。
(摂津さつき保育園 M・H)

泉州ブロック保育士会研修会が、8月20日(土)貝塚市福祉センターで、「気になる子どもの保育を考えるーかみつきを中心にー」をテーマに、華頂短期大学の西川由紀子助教授を講師に迎え、開催されました。まず、かみつきが集中する時間帯は、子どもの活動

とてりひとりの発達差を考慮し、グループのサイズや子どもの動線を見直し、何よりも保育士がゆったりとゆとりを持って子どもたちと関わることが大切であると述べられました。

がばらつく食後から午睡前に多発し、子どもが意志を相手にうまく伝えられないことによりイライラし、起こりやすいことが報告され、イライラを軽減するには、噛まずにはいられない状況がどこからきているのかを考慮し、噛んだ子どもの心に寄り添うことが大切であると語られました。

また、そのためには、ひとりひとりの発達差を考慮し、グループのサイズや子どもの動線を見直し、何よりも保育士がゆったりとゆとりを持って子どもたちと関わることが大切であると述べられました。

あ この 人

あ社会福祉法人成光苑・正雀愛育園(摂津市)園長、小池昭三さんが去る8月8日に亡くなられた。小池さんは、7月下旬職員会議中、体調不良を訴えられ、病院に行きそのまま入院となった。その後、身内の手厚い看護の甲斐なく亡くなられた。昭和52年5月の園長就任とのことなので、28年という永きにわたるご活躍だ。保育部会がかって毎年最後に、何か問題が発生した場合、保護者との普段づくりが、様々な反応への土台の礎であり、より良い保育に結びつくことであり、問題が生じた場合も、ひとりで抱え込まず、園全体で分かちあい、支えあえる職員集団であることが大切であると結ばれました。
(和泉まゆみ保育園 Y・M)

発行所
大阪府中央区中寺1丁目1-54
大阪府社会福祉協議会
保育部会
TEL (06) 6762-9001
発行人 男 勝
編集人 永 水